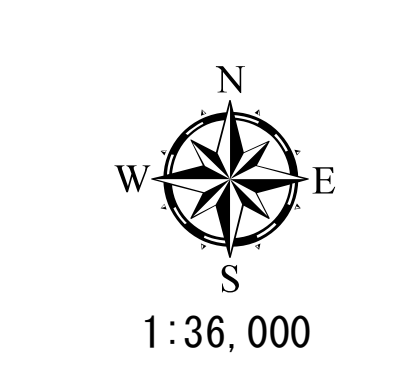
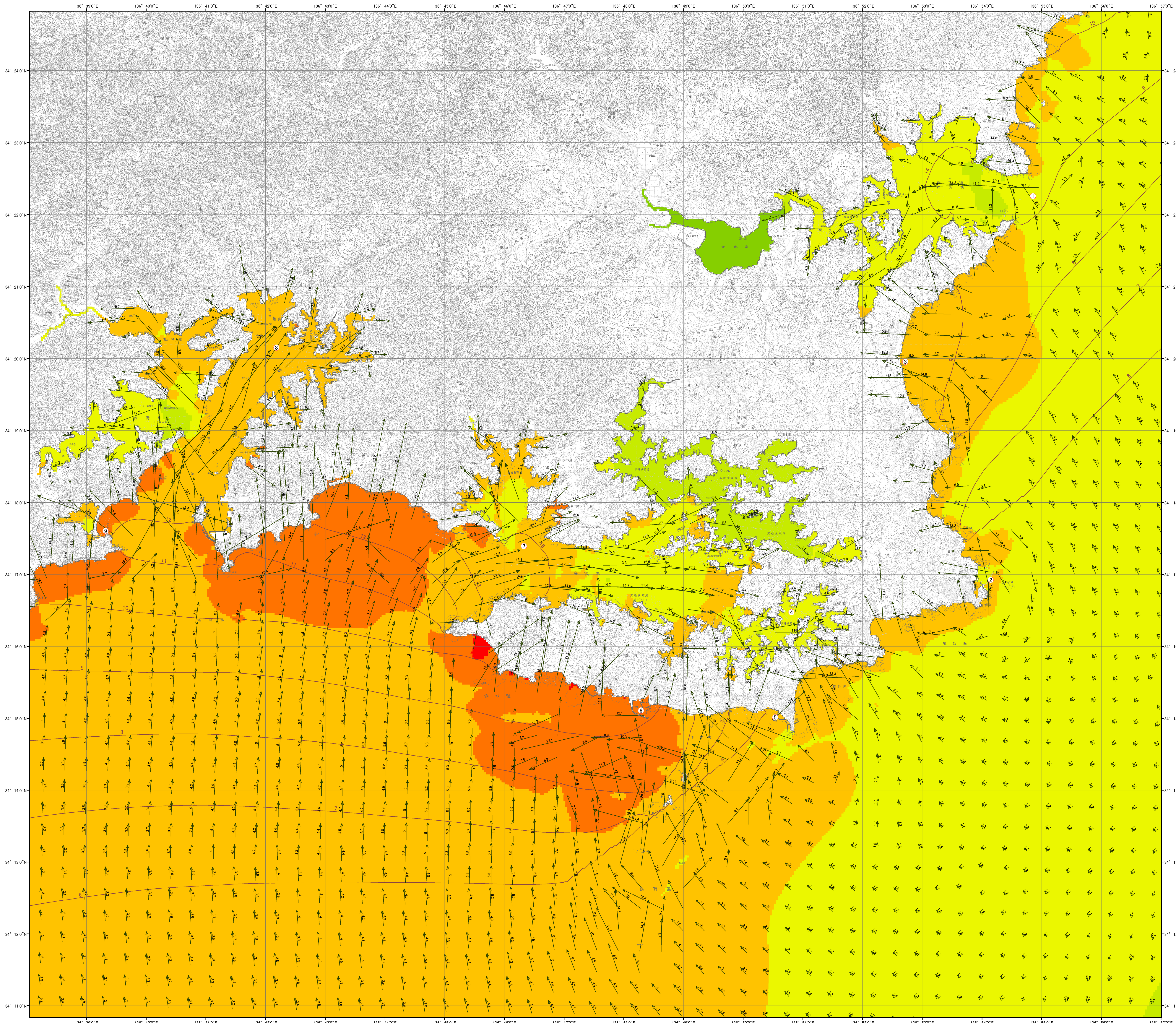


大王崎至五ヶ所湾 津波防災情報図（進入図）

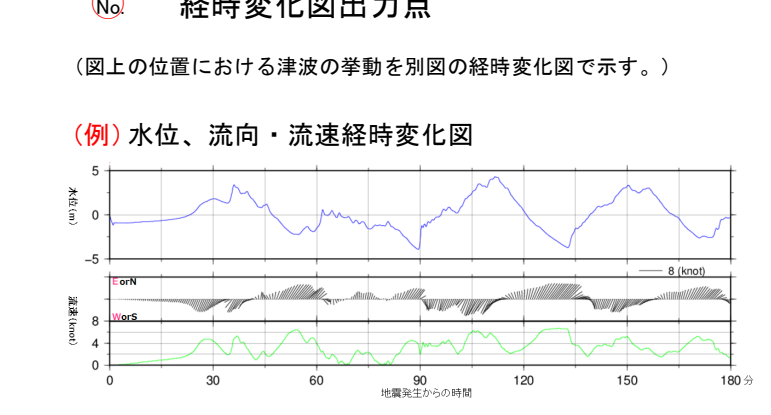
計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -41cm (-114cm ~ 160cm)
 Zo：1.05m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



1:36,000
 座標系：メルカトル国法
 測地系：世界測地系 (WGS84)

凡例

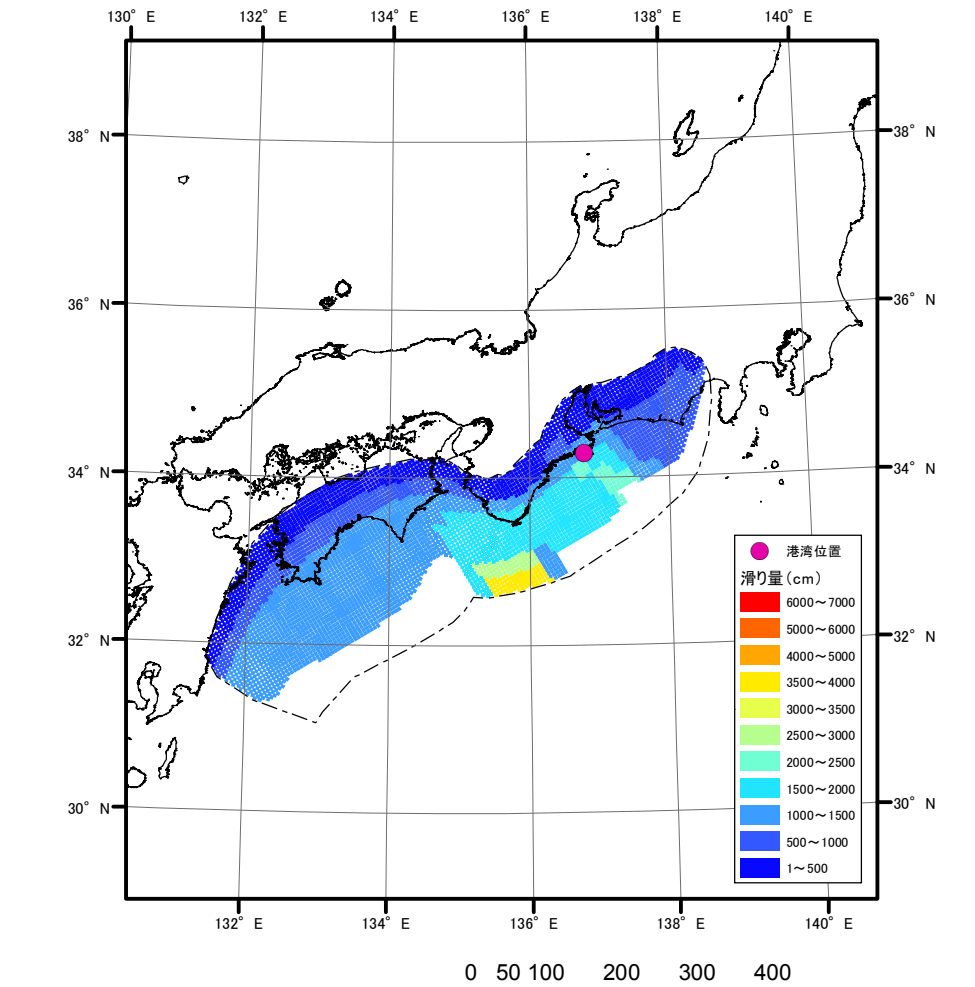
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 20~最大25.3m
 - 10~20m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
- 経時変化図出力点
(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)



- 進入時最大流 [knot]
 - 6 knot
 - 4 knot
 - 2 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点算出している。
- 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

断面モデル



ケース⑦「紀伊半島沖に『大すべり域+（超大すべり域、分岐断層）』」	
断面面積 S (km ²)	140,000
地震モーメント Mo (N·m)	5.3 X 10 ²²
平均すべり量 D (m)	8.8
モーメントマグニチュード Mw	9.1

本断面モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。
 使用した断面モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報システム（標高）・10mメッシュ（標高）及び数値地図25000（地図画像）（国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第11号 平成25年3月29日）
 ・海岸における3D電子地図（国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 国地応地第98号 平成24年3月21日）

